

彩の歳時記

平成二十一年 四月

故郷やどちらを見ても山笑ふ 子規

俳句の季語「山笑ふ」は中国北宋時代の漢詩集「臥遊録」がゆうろく所収の言葉。「春山淡冶(たんや)にして笑ふがごとく」に由来し、木々が芽吹く春の山が霞の中で笑っている様子が心を和ませます。

春山淡冶而如笑
夏山蒼翠而如滴
秋山明浄而如粧
冬山惨淡而如眠

「春山淡冶にして笑ふが如く夏山蒼翠にして滴るが如く秋山明浄にして粧ふが如く冬山惨淡として眠るが如く」

筆取りてむかへば山の笑ひけり 蓼太(りょうた)【1718～1787】

四月の異称

卯月 卯の花が咲く月。十二支の四番目が卯であるからとする説、稲の苗を植える月であるから「種月(うづき)」「植月(うゑつき)」などの説もある。

四月の暦

一日 エイプリルフル 四月馬鹿・万愚節(ばんぐせつ) フランスでは「フワソン・ダヴリル」(Poisson d'avril, 四月の魚)。江戸時代には「日ごろの不義理を詫(わ)びる日」であった。俳句の季語春 また同じタイプに夢中万愚節 黛まどか〔女性俳句結社「東京ヘップバーン」代表〕

五日 清明(二十四節気) 万物発して清浄明潔なれば、此芽は何の草としれるなり〔暦便覧〕

八日 灌仏会(花祭り・花供養) お釈迦様の誕生日。釈迦如来の生誕時、天龍が降って甘水を釈尊に浴びせたことから、甘茶を釈迦像にかけて祝う。推古天皇の頃からの行事。



二十日 穀雨 春雨降りて百穀を生化すればなり〔暦便覧〕しとしと降る雨は気が重くなりがちだが、穀物の生長に必要な雨。イギリスでは四月の天気は「雨と日光がともに降り注ぐ」と言う。

二十九日 昭和の日 2006年まではみどりの日。1988年までは天皇誕生日

三十日

荷風忌

没後五十年を迎える小説家・永井荷風【1879～1959】の忌日。東京市小石川区生まれ。

自然主義主流の文壇に耽美主義の新風を吹き込み、昭和に入ってからは花街の風俗を描いた「墨東綺譚」などを発表。軽薄な日本の近代文明を嫌悪、江戸文化に憧れた。その稀な反俗精神は、死の前日まで書かれた日記「断腸亭日乗」にも躍如とし、今もファンが多い。荷風が愛した吉原の娼婦が多く眠る三ノ輪の浄閑寺に詩碑・筆塚がある。墓は雑司が谷霊園

ゴールデンウィーク

四月末から五月初めまで続く休日の多い週。以前、飛石連休と言われた



1985年(昭和六十年)に五月四日が「国民の休日」になってからは、この言い方はなくなった。

四月の歌

手のひらを太陽に 1961年

詞の柳瀬嵩(やなせたかし)【1919年～】はイラストレーター・漫画家・詩人・絵本作家・『それいけアンパンマン』(1988年)放映)の作者。

アンパンマンは最初がメルヘン、その後、幼児用絵本という先例が少ないケースで四・五才に人気を得た。出身地の高知県に市立やなせたかし記念館

「アンパンマンミュージアム」「詩とメルヘン絵本館」。日本漫画家協会理事長 曲のいずみたく【1930～1992】は歌謡曲、フォークソング、CM・アニメソング、ミュージカル、童謡、校歌と幅広いジャンルを作曲。多作で総作数は15,000曲にのぼるといふ。「幸せなら手をたたこう」「見上げてごらん夜の星を」「いい湯だな」「徹子の部屋のテーマ」など。



ほへうはみんな生きている
生きてるから歌うんだ
ほへうはみんな生きている
生きてるから悲しいんだ
手のひらを太陽にすかしてみれば
まっかど流れるほへの血潮(ちまほ)
みみずだておけだて
あめんぼだて みんなみんな
生きてるんだ 友だちなんだ